

# 破傷風 および ジフテリア ワクチン (Td)

## ワクチン接種前に 知っておくべき事



### この病気について

破傷風(こう症)およびジフテリアはとも重い病気です。破傷風は、切傷または傷口から体内に病原菌が入り込み引き起こされます。そして、ジフテリ

アは、ジフテリアにかかった人から他の人へと、鼻または咽から病原菌を移し広がります。

破傷風は；  
全筋肉に対し重く痛々しい痙攣を引き起こします。

場合によっては：  
顎を「動かなくさせる」ので、患者が口を開いたり飲み込む事ができなくなる事もあります。

ジフテリアは：  
鼻、咽、または通気気管を厚くおおってしまいます。

場合によっては：  
- 呼吸困難  
- 心臓麻痺  
- 麻痺  
- 死亡

### ワクチン接種について

#### ワクチン接種の利点

ワクチン接種は破傷風及びジフテリア予防には最適な方法です。ワクチン接種のおかげでこれらの病気を持つ患者は少なくなりました。たいていの子供たちがDTP (ジフテリア、破傷風、百日咳)、DTaP (ジフテリア、破傷風、非細胞性百日咳)、またはDT (ジフテリア及び破傷風) のワクチン接種を受けているので、子供たち間での患者は非常にまれです。もしワクチン接種をやめてしまったら、患者が今よりもっと増えるでしょう。

#### Tdワクチン接種はいつ受けるべきでしょうか？

Td接種は、7才以上の人たちを対象としています。

今まで破傷風とジフテリアワクチン(DTP、DTaP、またはDT)接種のいずれかを少なくとも3回以上されていない方は、Tdで接種を行って下さい。3回目の接種を受けた後は、10年に一度Td接種が生涯必要となります。

この他のワクチンはTd接種の際に与えられる事もあります。

ワクチン接種を受ける方で以下に該当する方は、医師または看護婦に告げて下さい：

- Td、またはその他一切の破傷風とジフテリアワクチン (DTP、DTaP、またはDT) 接種により、重症のアレルギー反応またはその他の問題があった
- 現在軽い病気あるいは重病にかかっている
- 妊娠中である

確かでない場合は、医師または看護婦に尋ねて下さい。

#### Tdワクチン接種による危険はどのようなものでしょうか？

他のいかなる薬同様、ワクチン接種後、死を招く事も可能な深刻な事態を引き起こす危険は非常に小さいものです。

ワクチン使用をやめた場合、ワクチン接種による危険は、その病気による危険よりもかなり小さなものです。

Tdワクチン接種者のほとんど全ての人たちは、この病気の問題は全くありません。

## 軽症

これらの症状が生じる場合、通常ワクチン接種後数時間から一、二日以内に起こります。1-2日間症状は続きます。

- 注射部の痛み、赤み、または腫れ

これらの症状は、Tdワクチン接種をあまり受けた事のない大人は、これらの症状がひどくなる恐れがあります。

アセトアミノファンまたはイブプロファン(非ピリン)が痛みを緩和するために使われる事があります。

## 重症

これらの症状が起こる事は非常にまれです：

- はげしいアレルギー反応
- 上腕部に奥深くずきずきとした痛みがあり、筋肉を徐々に衰弱させる。この痛みは、注射後2日から4週間で始まり、数ヶ月続く事もある。

はげしい反応があった場合どうするべきでしょうか：

☎ 直ちに医師を呼ぶか、人に医師を呼びにいかせる。

☎ 何が起こったか、日付及び時間を書きとめる。

☎ 医師、看護婦または衛生局に、ワクチン災難報告用紙を提出するよう頼むか、下記の番号までお電話下さい：  
(800) 822-7967 (フリーダイヤル)

---

ナショナル・ワクチン傷害補償プログラムでは、ワクチン接種により損傷を受けた方に対して、補償(支払い)を与えています。詳細については、下記の番号までお電話下さい：  
(800) 338-2382 (フリーダイヤル)

---

さらに詳しくお知りになりたい方は、医師または看護婦にお尋ね下さい。彼女/彼がワクチン接種の一括広告、またはその他の情報源を教えてください。

